

平成31年度 日本語補習

学校名	台北日本人学校	校長	近藤 裕敏
<p>1. 学校及び地域の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾の北部，台北市の北側の外国人がおもに居住しているところに位置している。 ・小学部21学級，中学部7学級，特別支援1学級，教職員70名。 ・児童生徒数約800名，年間約200名の編入・退学がある。 ・約7割が駐在の子女で，残りが台日国際家庭もしくはその他の国につながる子女である。 			
<p>2. 日本語補習の概要</p> <p>① 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に必要な日本語能力を育成し，学級の学習に参加できる。 ・日常生活に必要な日本語会話を身につけ，学級で良好な人間関係を築くことができる。 <p>② 歴史</p> <p>平成2年5月より日本語補習始まる。</p> <p>③ 日時</p> <p>毎週水曜日 6時間目 14:40～15:15 (35分間) 年間30時間 (前・後期の二期制)</p> <p>④ 対象</p> <p>小学部1・2年生の中から日本語補習を希望する児童 (平成31年度は1年生30名，2年生16名)</p> <p>⑤ 指導者 (担任が行っている)</p> <p>⑥ クラス分け</p> <p>児童の日本語レベル (課題) による</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒1年生は①会話②書く③読む④基礎の4クラス ⇒2年生は①読む②会話③書く(初)④書く(中)の4クラス <p>⑦ 内容</p> <p>国語や算数，生活科にもとづく本校独自のカリキュラム (年間カリキュラム参照) AG5 で作成した活動案に基づいて実施</p>			
<p>3. 日本語補習授業在籍児童の状況 (令和二年2月4日現在)</p> <p>1年生30名のうち，台日国際家庭21，その他中国/フィリピン/マレーシア/アメリカ国籍など</p> <p>2年生16名のうち，台日国際家庭9，その他韓国/カナダ/フィリピン/中国国籍など</p> <p>1・2年生46名のうち，日本語のほか中国語を話す子ども45名，韓国語1名</p>			